



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <https://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 鎌田 正彦
 問合せ先責任者（役職名） 財務部長（氏名） 三浦 孝造（TEL）03（6772）8200
 半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	228,539	3.1	6,389	△41.7	6,364	△44.1	2,760	△57.2
2024年12月期中間期	221,739	△0.4	10,958	△23.1	11,385	△20.7	6,456	△21.1

（注）包括利益 2025年12月期中間期 3,182百万円（△60.9%） 2024年12月期中間期 8,138百万円（△16.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	69.50	—
2024年12月期中間期	162.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	328,855	113,491	26.8
2024年12月期	317,287	112,948	27.8

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 88,147百万円 2024年12月期 88,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	85.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	485,000	8.2	20,500	15.8	20,100	8.9	11,200	16.4	281.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 7社(社名) SBS Europe B.V.他6社、除外 社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(第一種中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期中間期	39,718,200株	2024年12月期	39,718,200株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	833株	2024年12月期	833株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年12月期中間期	39,717,367株	2024年12月期中間期	39,717,411株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2025年8月8日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	8
(第一種中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日~2025年6月30日)は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増大等により国内消費の回復傾向が続いた一方で、資源・原材料価格の高騰や生活必需品、とりわけ食糧品の価格上昇、さらには米国の通商政策の影響が国内景気を下押しするリスクとなり、先行き不透明感が依然継続する形となりました。

物流業界においても、輸送能力不足とコスト上昇が顕在化し、取り巻く環境は厳しさを増しております。そうしたなか、当社グループは、主力の物流事業における3PL、4PLビジネスの獲得に加えて、ワンストップのECプラットフォームサービス「EC物流お任せくん」の本格展開を関東、関西の両地域において開始するなど、積極的な対応を図ってまいりました。

当中間連結会計期間の業績については、前年第1四半期に物流不動産の流動化を実施しているため、売上高は前中間連結会計期間より67億99百万円増(+3.1%)の2,285億39百万円、営業利益は同45億68百万円減(△41.7%)の63億89百万円、経常利益は同50億21百万円減(△44.1%)の63億64百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同36億95百万円減(△57.2%)の27億60百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

主力の物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得や、EC物流の需要取り込み、また、ラストワンマイルにおける置き配サービスの本格導入等、サービスラインナップの拡大にも注力しました。当中間連結会計期間の物流事業の売上高は、新規・既存顧客のビジネス拡大等に加え、子会社を新規連結した影響により、前中間連結会計期間より162億45百万円増(+7.9%)の2,211億42百万円、営業利益は同3億81百万円増(+8.5%)の48億58百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループ内での3PL、4PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業では、グループで保有する倉庫、オフィスビル、レジデンス等から賃貸収益を得ています。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しており、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

当中間連結会計期間における不動産事業については、前述のとおり、前年第1四半期に新杉田物流センター(横浜市)の信託受益権の譲渡を実施しているため、売上高は前中間連結会計期間より98億23百万円減(△80.4%)の23億90百万円、営業利益は同46億77百万円減(△76.0%)の14億80百万円となりました。

(その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。当中間連結会計期間におけるその他事業の売上高は前中間連結会計期間より3億78百万円増(+8.2%)の50億6百万円、営業利益は同81百万円増(+45.8%)の2億60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は3,288億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ115億68百万円増加しました。現預金や売掛金をはじめとした流動資産が減少した一方で、子会社の新規連結等の影響で固定資産が増加しました。

負債は2,153億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億25百万円増加しました。これは主に、短期借入金等の流動負債の増加によるものです。

純資産は1,134億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億42百万円増加しました。これは主に、非支配株主持分の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力の物流事業において、企業間物流で取扱数量の大きな伸びを見込みにくい状況のなか、当社はグループ各社のシナジー創出によって営業力にさらに磨きをかけ、ECなど非対面販売の物流需要の取り込みにも積極的に対応しております。

また、当社グループは事業規模と事業ポートフォリオの拡充、さらに優秀な人材等を確保する手段として、M&Aを重要な成長戦略の一つと位置付けています。過去1年間のM&Aの実績としては、2024年10月に日本精工(株)が保有するNSKロジスティクス(株)(現・S B S N S Kロジスティクス(株))株式の66.61%を譲受したのを皮切りに、2025年2月にインドネシア・ジャカルタに拠点を置くPT TANGGUH JAYA PRATAMA社株式の77%、また4月にはオランダに本拠を構える3 P L企業グループ(ズワルウグループ)の持株会社であるブラックバード ロジスティクスB. V. の80%の株式取得を行いました。さらに10月には、(株)ブリヂストンからブリヂストン物流(株)株式の66.6%を取得する予定であり、国内外を問わず、より広範で付加価値の高い総合的な物流サービスを提供できる体制の構築を図っております。

2025年度12月期は、上記の成果を取り込みつつ、2024年度に延床面積が100万坪を超えた自社倉庫のフル活用やトラックの積載率向上などの地道な方策を着実に積み重ねながら、物流事業の利益率向上をテーマに取り組んでまいります。業績の見通しに関しては、こうした状況を踏まえて、サマリー情報の「2025年12月期の連結業績予想」のとおりといたしました。この業績予想を着実に達成し、将来の持続的成長につなげるべく、当社グループ一丸となって事業活動と成長戦略、とりわけ2025年度を最終年度とする中期経営計画「S B S Next Stage 2025」で掲げる諸施策を推進してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,703	26,466
受取手形、売掛金及び契約資産	66,048	63,455
棚卸資産	41,803	43,141
その他	20,477	18,633
貸倒引当金	△171	△201
流動資産合計	157,861	151,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,978	76,506
減価償却累計額及び減損損失累計額	△53,695	△54,688
建物及び構築物(純額)	21,283	21,817
機械装置及び運搬具	40,211	42,780
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,478	△27,928
機械装置及び運搬具(純額)	13,732	14,851
土地	53,558	56,157
リース資産	10,937	16,416
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,597	△6,884
リース資産(純額)	3,339	9,531
建設仮勘定	2,047	1,473
その他	11,165	13,043
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,931	△8,785
その他(純額)	3,233	4,258
有形固定資産合計	97,195	108,090
無形固定資産		
のれん	7,287	12,901
顧客関連資産	20,327	19,916
その他	5,856	5,983
無形固定資産合計	33,472	38,801
投資その他の資産		
投資その他の資産	28,844	30,510
貸倒引当金	△87	△41
投資その他の資産合計	28,757	30,468
固定資産合計	159,425	177,360
資産合計	317,287	328,855

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,700	31,026
電子記録債務	4,732	4,542
短期借入金	21,100	30,617
1年内返済予定の長期借入金	24,066	27,567
未払法人税等	4,616	2,802
賞与引当金	2,714	3,013
その他	27,074	27,607
流動負債合計	116,005	127,177
固定負債		
長期借入金	55,374	49,872
退職給付に係る負債	9,452	9,157
資産除去債務	3,459	3,501
その他	20,046	25,656
固定負債合計	88,333	88,186
負債合計	204,338	215,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	77,458	77,447
自己株式	△1	△1
株主資本合計	84,029	84,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,448	1,529
為替換算調整勘定	1,857	1,811
退職給付に係る調整累計額	884	788
その他の包括利益累計額合計	4,190	4,128
非支配株主持分	24,728	25,343
純資産合計	112,948	113,491
負債純資産合計	317,287	328,855

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	221,739	228,539
売上原価	195,008	205,612
売上総利益	26,731	22,927
販売費及び一般管理費	15,772	16,537
営業利益	10,958	6,389
営業外収益		
受取利息	39	51
受取配当金	84	76
持分法による投資利益	478	769
その他	501	187
営業外収益合計	1,103	1,085
営業外費用		
支払利息	478	671
その他	198	438
営業外費用合計	676	1,110
経常利益	11,385	6,364
特別利益		
固定資産売却益	70	72
特別利益合計	70	72
特別損失		
固定資産除却損	62	65
減損損失	378	87
その他	82	3
特別損失合計	522	156
税金等調整前中間純利益	10,933	6,280
法人税等	4,059	2,664
中間純利益	6,873	3,616
非支配株主に帰属する中間純利益	416	856
親会社株主に帰属する中間純利益	6,456	2,760

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	6,873	3,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	3
為替換算調整勘定	1,081	△325
退職給付に係る調整額	△39	△79
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△33
その他の包括利益合計	1,265	△434
中間包括利益	8,138	3,182
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,338	2,699
非支配株主に係る中間包括利益	800	483

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

当中間連結会計期間より、SBS Europe B.V.について重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したBlackbird Logistics B.V.及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。

(第一種中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	202,206	—	4,628	206,835	—	206,835
その他の収益	2,690	12,213	—	14,904	—	14,904
外部顧客への売上高	204,897	12,213	4,628	221,739	—	221,739
セグメント間の 内部売上高又は振替高	368	715	579	1,663	△1,663	—
計	205,266	12,929	5,208	223,403	△1,663	221,739
セグメント利益	4,476	6,158	178	10,814	144	10,958

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益122百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	218,153	1,425	5,006	224,584	—	224,584
その他の収益	2,989	965	—	3,954	—	3,954
外部顧客への売上高	221,142	2,390	5,006	228,539	—	228,539
セグメント間の 内部売上高又は振替高	381	1,018	602	2,001	△2,001	—
計	221,524	3,408	5,608	230,541	△2,001	228,539
セグメント利益	4,858	1,480	260	6,599	△209	6,389

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去33百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△243百万円であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

物流事業セグメントにおいて、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したBlackbird Logistics B.V. 及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、5,889百万円であります。

なお、のれんの金額は暫定的に算定された金額です。